

「天使と悪魔2」

天使 私は天使、良い事だけ行う天の使い。

悪魔 俺は悪魔、悪いことだけをやる地獄の使い

語り 私は語り手、ストーリーテラーとも…

天使 あんた！前はよくもやってくれたわね！ああん！？

語り 何ですか急に。天使のくせにヤカるのやめてください。

天使 …オホン。私は常に最善の選択をしたいだけです。

しつかりと情報を頂きませんと判断出来ません。

語り 分かりましたよ。しつかり伝えればいいんですねー

では今回はこちらです。

ここに1つの国があります。貧しい、とても貧しい国です。

田畑は荒れ、木々は枯れ、食う物も着るものも無く、

吹けば塵となりそうな国が。

天使 第二回目にして規模がでかいわね。

悪魔 黙って聞けよ。

天使 続けて。

語り

王様が頭を抱えていると、大臣が口を開きました。王様、これはもう隣の国に戦争をしかけるしか我々の生きる道はございません。王様のご下知あれば、この国の総力を上げて隣の国へ攻め込む次第であります！と。

天使

これ、我々で決めなきやいけないの？  
神のいたずらが過ぎない？

悪魔

お前の上司だろうが。

語り

さて、この貧困に喘ぐ国民は隣国に攻めるべきか否か。ジャツジメント。

天使

…パスで。

悪魔

パスとかねえよ。

語り

救済チャンス！ここで悩んでる2人に第3の選択！  
雨乞いをして、雨を降らす。という選択肢追加！

悪魔

雨乞いをして雨を降らす！

天使

あつーてめ、ずりいぞ！！

悪魔

これでお前が選べる選択肢は攻めるか攻めないの2択だ  
はーっはっはっは！

天使

こ、この悪魔あ。  
…と、となりの国に攻める…。

語り

ファイナルへブンオアヘル？

天・悪

レッツロック！！

雨乞いをして雨を降らせる場合

王様

待て大臣。隣国を攻めるのは最終手段だ。  
我が国が痩せ細っているのは雨が降らないからだ。  
ここはひとつ、雨乞いで雨を降らせてみよう。

………

大臣

王様！雨です！雨が降りました！

王様

おお、やったか！

大臣

ですが、雨が降り過ぎて洪水で国民の住む家を  
飲み込んでしまいました！

語り

ゲームオーバー。

悪魔

かっかっかっか！ダメだったかー！

天使 あんたよく笑ってられるわね。

隣国へ攻めた場合

戦は何日も続きました。兵達は疲弊し、もう限界です。その時。

姫 大丈夫ですか、さあこの水を飲んで。

兵士 な、なりません。姫様。このわずかな水は姫様の為の…

姫 いいえ、この水は我が国の民全員のものですわ。

天使 なんかいけすかねえ女が出てきたな。

悪魔 お前結構こつち側だと思っただよな。

王子 美しい：隣国の姫よ。私は貴女に一目惚れいたしました。

その気丈な振る舞い。民を愛する心。どうか私の妻になってください！  
そしてこの戦争を終わらせましょう！

語り んで、なんやかんやあつて2つの国は王子と

姫の婚約により和平を結ぶ事になりましたとき。

天使 信じる心が。愛する心が。貧しい国を助けた

のですね。人はやはり争ってはいけません。

悪魔

こいつさつき攻め込むって選択してたよな。

語り

これからの天使と悪魔の戦いは続いていくのでした。

おわり